

資料 1

菅原道真公
壹千二百二十五年記念大祭
境内修復事業
ご浄財募金のお願い

全国で唯一、菅原道真公在世中より
祭祀した日本最古の生身天満宮。
老朽化が進み
危機的状況である境内を整え
未来へ無事に繋ぎたいと願います。
ご浄財募金のご協力を
何とぞ伏してお願い申し上げます。

【日本最古の天満宮を守り引き継ぐために】

生身天満宮は、全国 12,000 社座す天満宮の中で唯一、菅原道真公存命中からお祀りした日本最古の生身天満宮です。

日本三大歌舞伎「菅原伝授手習鑑」に描かれる始祖、武部源蔵が、延喜元年（901 年）に菅公の木像を刻み、生祠として奉齋しました。

令和の現代も、源蔵から 38 代目の武部家が、守り引き継ぐべく宮司として仕えています。

しかし現実の境内は、本殿・拝殿を始め、どの建物も老朽化が進み危機的状況です。



【菅原道真公 1125 年記念大祭に向けて 境内修復事業 ご浄財募金のお願い】

全国の天満宮では、ご祭神菅原道真公を偲び、25 年毎に記念大祭を齋行します。次回は、令和 9 年(2027 年) に齋行される **菅原道真公 1125 年記念大祭**です。

生身天満宮では、この式年大祭を整備された境内で迎えたいと願い、当宮氏子会と共に、**大規模な保存修理を行う境内修復事業目標計画**を立てました。

到底自力では追いつかず、先例にならい、皆々様からご浄財を仰ぐことと致しました。

人智を超えた大きな困難に直面し、経済状況の厳しい昨今、ご無理なお願いとは重々承知しております。

けれども、古より力を合わせ守り引き継がれてきた大切な文化財、**日本最古の生身天満宮**を、鎮守の森を、絶やすことなく未来へ繋ぐため、何とぞ趣旨ご賛同を賜わり、ご支援ご協力を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

▷目標金額：総額 1 億円

▷達成金額：4,400万円 令和3年(2021年)9月末現在(生身天満宮資金含む)

▷目標残額：5,600万円

▷目標計画事業

▶第1次事業 事業費：約2,100万円

神楽殿保存修理 令和2年(2020年)3月竣工

▶第2次事業 事業費：約3,600万円予定

拝殿保存修理 令和3年(2021年)10月着工

※拝殿は、天保2年(1831年)建立の京都府登録文化財です。

▶第3次事業

本殿屋根桧皮葺替 令和6年(2024年)着工目標

※本殿は、承応2年(1653年)建立の京都府指定文化財です。

▶継続目標事業

社務所改築・神饌舎修復・宝物蔵改修



▷ **目標計画事業**

▶ **第1次事業** 事業費：約 2,100 万円

神楽殿保存修理 令和2年(2020年)3月竣工

▶ **第2次事業** 事業費：約 3,600 万円予定

拝殿保存修理 令和3年(2021年)10月着工

※**拝殿**は、天保2年(1831年)建立の京都府登録文化財です。

▶ **第3次事業**

本殿屋根桧皮葺替 令和6年(2024年)着工目標

※**本殿**は、承応2年(1653年)建立の京都府指定文化財です。

▶ **継続目標事業**

社務所改築・**神饌舎**修復・**宝物蔵**改修